

2022年(令和4年)9月7日(水) 第9回例会(通算2945回)



国際ロータリー第2580地区

石垣ロータリークラブ

2022-23年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「八重山の未来のために行動しよう」



イマジンロータリー

2022-23年度 RI 会長テーマ
RI 会長: ジェニファー E. ジョーンズ

地区ガバナー: 嶋村 文男

◇ ガバナー信条 ◇

“Take Action for Rotary Future”

“Reach Out for World Peace”

“ロータリーの未来のために行動しよう”

“世界の平和のために手を差しのべよう”

今月のロータリーレート 1\$¥139

島の水景 ~石垣島の水散策~

【せせらぎ公園】

全長 1174mの^{おもと}於茂登トンネルを北側に抜けると左手に見える公園。正式な名称は不明ですが、沖縄県最高峰の於茂登岳からの冷たい湧水が流れています。透明度の高い清流では水棲動植物なども観察することができ、清涼スポットとしても住民の憩いの場となっています。



9月のプログラム

9/7(水)ゲスト卓話

9/14(水)地区大会振替休会

9/21(水)会員卓話

ガバナー補佐: 仁開 一夫 会長: 大浜 勇人 副会長: 前原 博一

幹事: 松田 新一郎 副幹事: 今西 敦之

公共イメージ委員長: 山下 暢 SAA・出席委員長: 大本 綾子

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

☆総会員数:53名(名誉会員2名・出席免除会員2名)

☆出席義務会員数:49名

☆出席人数:27名 欠席人数:22名 出席率:55.10%

《司会進行:大本 綾子》

☆ロータリーソング:えんどうの花 ロータリーの目的

☆ソングリーダー:遠藤 正夫

☆ゲ ス ト:大浜 譲様(登野城小学校 校長)

☆ビ ジ タ ー:藤宮 志津子氏(東京東大和 RC 会長)

☆メ イ ク ア ッ プ:大濱 達也 小林 昌道

会長挨拶
大浜 勇 人



皆さん、こんにちは。本日の新聞で気になった点をお話させていただきます。離婚後親権試案先送りということで、私も注目して見ていましたが、日本では、夫婦が離婚したあとに片親が親権を持つというのが裁判上でも一般的なんですが、世界で見るとこういうケースというのはなかなかないんですね。たとえ別れたとしても両親権で両親が責任を持って子供を育てる。映画とかで土日だけお父さんが車で子供を迎えに来て遊びに連れて行くというのを何度か見たことがあると思います。なぜ問題かという、外国で離婚された日本人の方が、子供を連れて日本に帰る、すると外国では誘拐ということになるんですね、そういう問題が発生しているという事に対して、これからの運用を法整備をどうしていくのか、というものの話し合いが行われている。民間の審議員を含めて法制審議会の方では、従来の文化的などうか片親を良しとする方向で話し合いが進んでいるという事ではあったんですが、自民党の法務部会からそれはおかしいという事で差し止められているという事です。世界から見れば日本は子供の人権を考えていないと言われます。果たしてそれがそうなのかは分かりません。日本の文化と言えば文化、ではこれから日本がこういう問題に対して、どういう方向に進んで行くか、充分協議して頂いて、我々一人一人のこういう問題があるという事に意識を持って頂いてもらって諮問していければと思っております。今日、メイクアップして頂いています東京東大和 RC の藤宮会長は大本会員の実のお母さんになります。昨日、前木 PP と一緒に会食させていただきました。実にエネルギッシュな会長さんで、この人に育てられたから大本さんがこんな感じなのかなと思いました。まさにエネルギッシュを受け継いでいるんだなど、昨日は良い交流ができて良かったです。本日は、石垣市立登野城小学校、大浜校長先生の海洋教育についての卓話を頂けるということで楽しみにしております。本日は、宜しくお願い致します。

☆ 幹事報告・松田 新一郎 ☆

ポリオデーの T シャツですが、本日が締め切りになっていますので、ご購入がまだの方は事務局までご連絡をお願いします。10/23のポリオ募金活動の際に着用していただく物でございます。個人で注文された方がいましたら、事務局の方までご連絡をお願いします。昨年に開催されました、水辺の美化プロジェクト、今年度も開

催することが決まりました。日程は、10/2(日)名称は「環境保全活動」という名称になっております。詳しくは、担当委員長より Slak 等でご報告いたします。以上、本日も宜しくお願いします。

☆ ビジターご挨拶 ☆

多摩分区 東京東大和 RC 会長 藤宮志津子様

皆様こんにちは。本日はお世話になります。東京多摩分区に属します東京東大和 RC、本年度会長を務めさせていただきます藤宮志津子と申します。こちらでお世話になっております大本綾子の実の母親でございます。「仲良く活動しよう。明るく、楽しく、元気なロータリーライフ」をテーマといたしまして増強に取り組み、友好クラブを福島の喜多方中央 RC と締結したり、地域の若い方々と木工チャレンジなどを開催したり、衛星クラブの設立に向けて準備を進めているところでございます。元気な石垣 RC からしっかりと学んで元気に頑張りますので、どうぞ宜しくお願い致します。

☆ ゲスト卓話:大浜 譲 様 ☆

(石垣市立登野城小学校 校長)

☆ 竹富町版 海洋教育について ☆

皆さんこんにちは。私は今年の4月から登小の校長をしまして、それまで令和元年度から3月まで竹富町教育委員会で教育課長を務めておりました。その中で海洋教育について推進してまいりましたので、本日は竹富町版ではありませんが、「海洋教育について」お話をさせて頂きたいと思っております。宜しくお願いします。私たちは、会場にいる皆さんも一緒だと思いますが、小中学生の頃とかに海洋教育というのは無かったかと思っております。今は海洋教育は広まっています。ひと昔前ですが、海というのは無限のもので無尽蔵であり、いくら魚とか貝を取っても大丈夫、変な話、海に少々ゴミを流しても海は許してくれる、海に対する無限、無尽蔵、そういうイメージがあったかと思っております。でも現在、海は人間の活動の影響をもろに受ける有限の存在であるということがわかってきました。私たち人間が生活をしている上でのゴミが毎年、大量に海に流れています。そのゴミの量、このままでいくと2050年には、海にいる生物の量を超過してゴミの方が多くなるだろうと言われております。海洋教育の目的ですが、持続可能な社会に向けて「人と海との共生」これが海洋教育の大きな目的です。海との共生、これが実は大変難しいんですね。どんなに難しいかと言いますと、例えば質問があります。Q1.海が人間に与えているものはなんでしょう？A.美味しい料理(魚・イカ・タコ・貝・海藻・他)住むのに適した気候、適度な雨や雪、楽しいレジャー(海水浴・ダイビング・他)では Q2.人間が海に与えているものはなんでしょう？A.過度な開発、ゴミの投棄、海洋汚染、なかなかプラスのものは出てこないです。共生というのは、持ちつ持たれつの関係です。あるいはwin-win の関係にならないと共生出来ないわけです。そこに難しさがあるということで、その難しさを次世代に向けて行こうという事で、全国で海洋教育が展開されております。私が知っているものをいくつかピックアップしました。例えば特徴的なことであると、福島県只見町は海がいつさいありません。豪雪地帯です。そのこの学校がこの雪は海からもたらされるものであるという事で、水をテーマに海洋教育をしているんですね。海がなくても海洋教育は出来るということを示してくれました。その隣の石川県能登町

ですが、私も昨年久しぶりに行かせて頂きました。3日ほどいましたが、いつ見ても海の潮位が同じくあるんですね。今、大潮ですか、小潮ですかと聞きましたら、ここは大潮の時でも干潮・満潮の差は3cmぐらいしかなく、中国大陸そして日本列島に挟まれて、大きなプールみたいなもんだという事で、干満差がほぼないという事でした。福岡県の大牟田市有明海、そこを対象に海洋教育をしています、ここは干満差が日本一です。場所によって目的は一緒ですけども、どうい海洋教育をやるかはそれぞれの町で変わるわけです、気候、風土、地形で。沖縄県では糸満市も取り組んでおります。海人の発祥地ですね。学校に国語、算数、理科、社会とありますけど、同じような感じで糸満市は海人科というのがあります。時間割に海人科があるんですね。その時間を活用して海洋教育に取り組んでいます。今日、紹介する竹富町も海洋教育に取り組んでいます。では、竹富町の海洋教育の取り組み経緯を簡単に紹介します。何も無い中で海洋教育が始まったわけではありません。やはり下地があります。2011年自治体として「竹富町海洋基本計画」を策定いたしました。そして2018年にその改訂版となる「第2次竹富町海洋基本計画」を策定しました、第11回海洋立国推進功労者として国より表彰。2019年に笹川平和財団が主催する「海洋教育パイオニアスクールプログラム」というものに参加して、本格的に海洋教育をスタートさせました。まずどういう事をしたかと言いますと、竹富町の強みと課題は何だろうという事で洗い出しをいたしました。まず竹富町の強みですけれども、竹富町のニライカナイ信仰ですね、はるか彼方にあるニライカナイにある神様が住んでいる島から大きなミルク神が五穀豊穡の豊かさを持ってくるよという、そのニライカナイ信仰に基づいて、いろいろな祭祀が、各地域、各島で行われています。子供たちは、そういうお祭に小さい時から見学したり、実際に参加したり、いつの間にか私の島大好き、私の地域大好き、そういう子供たちに自然と育ってくるんですね。これは竹富町の強みだと考えます。二つ目に、すでに海に囲まれているという地形上もありますけれども、海洋教育を進める以前から海と関わる活動は各島、各地域、各学校ですでに沢山行われている、そういう下地がありました。ですからゼロから始めるわけではなくて、今やっているものを教育のベースに乗せればいいんだよという事でやりました。鳩間小中学校さんは、例年春の遠足を全職員、全児童生徒で、カヌーで鳩間島を一周して途中どこかの島に上がってBBQ(昼食)を取って帰ってくるという春の遠足をしています。波照間小中学校の水泳教室ですが、島にプールの無いところもあります。そういうところは水泳教室を海で行っております。船浦中学校では、体験ダイビングをもう30年以上続けておまして、海に関わる活動をすでに大いになされている、それが強みであります。三つ目に、西表島と鳩間島の間にある幻の島バラス島、このバラス島は本当に人気で観光客のリピーターが多く、この島を目当てに来る観光客も多いと聞きました。また東洋のガラパゴスと言われる西表島ですが、西表島を始め竹富町内には希少な動植物がまだ沢山残っている、そういうのも竹富町の強みとしてもらいました。しかし課題もあります。竹富町には13校があります。島どうしは近いんですが、なかなか隣に行ってお交流をするという機会が少な

いんですね。船の関係もありまして、ほかの島の事を知らない、交流が出来ない、そういうのが課題としてあります。つまり町内にある他の地域、島への興味、関心が薄い、自分の住んでいる地域は大好きなんだけれども、町としての全体としてのアイデンティティが育ちにくい、そういう課題があります。海に関する活動をいろんな学校で毎年行われていますが、ただ体験学習は豊富なんだけど、やりっぱなしの傾向が強いなというのがありました。それをきちっと教育として位置付けようということです。三つ目に、バラス島の消滅とありますが、2020年に撮影したバラス島ですが、大きかったバラス島が、地球温暖化かはっきりした事は分かりませんが、今では満潮時には水没してしまう、とっても小さくなってしまっています。希少生物のロードキル、新聞でもよく出てきますがイリオモテヤマネコの交通事故死ですね、年代別の事故発生件数ですが、1980年代から2000年代までは、年平均2頭のヤマネコがロードキル被害にあっていますが、レンタカーが増えてきた2010年代からはその倍の年間4頭のロードキル被害にあっているという事です。竹富町においても豊かな自然や希少生物の減少の危機があると、これを守っていくための持続可能な社会を創る人材育成が急務である、それが竹富町の課題として上げられます。この課題の解決に向けて竹富町は、海洋教育を軸として対応していきましようということで海洋教育を推進しています。実際にどういう事をしたかという、1年目の令和元年度に海洋教育基本計画を策定しました。竹富町における海洋教育の指針となるもの。本町の海洋教育では、海に親しむ活動、海を知る活動、海を守る活動、海を活用する活動の4つの視点を基本とした学習を通して、海の自然や文化と人との共生に向けた人材育成を目指します。海洋基本計画というのが全国初ということでした。子供たちに馴染みのある興味・関心を持たすためには、どうすればいいのかというところで、子供たちからイラストもネーミングも公募してマスコットキャラクターが3体誕生いたしました。グルクンをモチーフにしたグール君、マンタをモチーフにしたマンタロウ、ウミガメをモチーフにしたタケートル、このタケートルの甲羅には、海・山・川と海の循環がこの甲羅で表現されているんです。こういう事を子供が考えていて凄いなと思っております。この3体は、これから紹介する海洋教育のいろんな場で活躍してもらっています。海洋教育副読本ですが、令和元年度から2年間かけて制作いたしました。各学校13校から一人ずつ集めて編集委員会を何度も開いたわけです。令和元年度は良かったです、集まって話ができました。令和2年度、コロナ発生の年、集まれませんでした。幸いなことにオンライン技術が進歩しましたので、竹富町教育委員会と各島にいる13校の小中学校にオンラインで結んで編集会議を何度も開催して副読本を編集していきました。工夫した点には、冒頭に漫画を入れていることです。写真と文章でいくらでも出来るんですが、とっつきにくいんですね。小学校1年生も見ると副読本ですので、漫画から入ろうという事で見やすく漫画で表現いたしました。これは大変好評でありました。全国初の海洋教育副読本、竹富町発汗、各島の話満載ということで八重山日報に掲載されました。他にも効果がありました。竹富町は2年、3年で先生方がどんどん入れ替わります。竹富町に初めて来

ましたという先生方が大勢集まります。初めて来た先生に、海洋教育をやつてよと言っても無理なんですね。それでこういう副読本で手順通りに進めれば取り合えず何とかかなという事で、そういう意味でも副読本は大きな役割は果たしたなと思っています。基本計画を作ったり、副読本を作ったりしても結局は子供に変容がないと全く意味がないわけですね。では、子供の変容に海洋教育がどういふことがなされるかという、やはり一番は発表力、他者に伝える力です。福岡県大牟田市で開かれる「海洋教育こどもサミット in 大牟田」で上原小学校の児童が代表で参加しております。大勢の人に囲まれて見られながら発表するわけです。シンポジウムもそうです。東京大学での「全国海洋教育サミット」ですが、古見小学校の児童が自分たちの海洋教育の発表をしています。手を伸ばせば当たるような、囲まれた場で発表するんですね。同じく東京大学での船浦中学校の発表です。こちらも同じです。他にも各学校では、こういう大きな大会ではなくても、学習発表会で海洋教育を発表したり、海洋教育成果発表会というのを保護者や地域の前で発表会をします。自然と発表力がついていきます。船浮小中学校の取り組み～船浮で使う電気をクリーンエネルギーで賄えないか。船浮地区は、大きな台風が来ると毎回3日間停電するそうです。この3日間を何とか自前のエネルギーで電気を起こせないかということで、それが出来たらずっと自分達の電気を自分たちで作って、自分達で生活出来ないかというのを子供たちと先生が探究していくわけです。他にも白浜小学校は、アオウミガメの実態調査ということで、GPS 発信機を甲羅につけて行動観察をするという探求学習をしています。これはとても深いんですね。ウミガメというと国際的に保護されていて観光客

の皆さんも可愛いという発想になると思いますが、海人の皆さんからしたら敵なんですね。魚の住処、イカとかの産卵場所であるウミシヨウブを全部食べるらしいので、ウミガメをどうにかしてくれというのが西表島の実情のようです。それで白浜の子供たちが、答えがあるかどうか分からない課題に自分たちなりの解決策を導こうというのがこのウミガメ学習です。上原小学校は、毎年近くの中野海岸でビーチクリーンを行っています。上原小学校さんの凄いところは、拾ったペットボトルは全て学校に持ち帰って、バーコードの番号を見るときこの国で製造されているのか分かるそうなんですね。そのバーコードからこのペットボトルはどこから来たというのを調べています。この日の仕分けの結果は中国が767本で1位、ベトナムが41本で2位、台湾、日本、マレーシアと続くんですが、こういうのを付けているんです。日本全国で海洋教育やビーチクリーンをやっているところは沢山あります。そういうところと交流しながら自分たちのビーチクリーンをやったらこのような漂着ゴミが出るんだけど、皆さんのところはどうか？と情報を交流しながら海洋教育学習を深めていけたらいいねというところまでにはなっております。やいまコーラルクリニック3月号に石垣島における海での活動が沢山載っております。私も八島小学校に勤めていましたが、八島小学校は海の学校と言われていました。ミニサバニというのがありまして、石垣市の海開きの日に、ミニサバニを持ち出してアトラクションとして子供たち乗せて楽しませた、そういう事もやっておりました。今日、紹介したのは竹富町版ではありますが、石垣市もまた石垣市版、あるいは学校の石垣市版というのは出来るのではないかなと思っております。私の3年間の海洋教育を聞いていただきました。ご清聴ありがとうございました

～ 例 会 風 景 ～



大浜讓会長 卓話ありがとうございました。
東京東大和 RC 藤宮志津子会長 ご来会ありがとうございました。

本日のニコニコ: ☆大浜勇人氏: 大浜校長先生 卓話ありがとうございました。

☆上勢頭保氏: 大浜校長先生は竹富島の後輩です。種取祭でも役者として活躍し頑張っております。本日の卓話に感謝申し上げます。

☆宮良榮子氏: 大浜校長先生の卓話に感謝。 ☆橋本孝来氏: 大浜校長先生 卓話ありがとうございました。

☆前木繁孝氏: 東大和ロータリークラブ会長 藤宮様石垣ロータリークラブへようこそ!!1年間のご活躍をご祈念致します。

☆松田新一郎氏: 大浜様、本日はありがとうございました。藤宮様 本日はご来島ありがとうございました。

☆今西敦之氏: 大浜登野城小学校 校長 卓話よろしくお願ひ致します。東京東大和ロータリークラブ藤宮会長 ようこそおいでくださいました。

☆新垣精二: 大浜校長先生 卓話ありがとうございました。八重校野球部 OB 会の頼りになる先輩です。

☆垣本徳一氏: 大浜讓校長 ゲスト卓話ありがとうございました。 ☆藤宮志津子氏: 本日はおじゃましていただき、いろいろ学ばさせていただきました。

◆BOX ¥10,000 (累計 ¥149,000) ◆コイン ¥409 (累計 ¥2,885) 合計 ¥151,885



米盛博和氏 7日(水) 上勢頭保氏 9日(金) 松原栄松氏 15日(木)
橋本孝来氏 16日(金) 松尾和彦氏 20日(火) 黒島剛氏 24日(土) 玉吉秀庸氏 29日(木)

